

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		支援スペースをご利用者の特性や同時間帯の人数に応じて、臨機応変に配置換えなどを行っている	適正なご利用の受け入れと職員配置により、ご利用者様が安心して過ごせる環境を今後も整えていく
	②	職員の配置数は適切である	3	2	職員数に応じて、サービス提供時間ごとの受け入れ人数を調整している	今後も適正な配置基準を満たした運営を行っていく
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	指導訓練室をパーティションで区切るなどして、お子様ごとの空間を確保している。また、集中して取り組めるようお子様に応じて環境設定を行っている	保護者様からご要望があった時には、快く対応できるような意識を職員全体で持つようにする
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		清掃や温度・湿度管理、消毒など、職員が分担し日々取り組んでいる	特にいまは、感染予防対策として、お子様・保護者様が安心安全にご利用頂けるよう、継続して取り組んでいる
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		個別支援計画に沿った短期目標を利用者様ごとに設定し、全職員で到達度を確認している	PDCA サイクルの質を高め、さらに業務改善に努めるようにしていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		本アンケートを基に、保護者様のご意見を事業所運営に反映していくように努めている	アンケートの他、日頃の保護者様とのコミュニケーションにおいて、ご意見頂いた事に対しては真摯に受け止め対応していく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		HP 上での公開と事業所内でファイル保管をし、いつでもご確認頂けるようにしている	ご意見頂き改善した部分は、ご利用者様、及び保護者様に周知していく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	「発達支援研究所」の第三者評価を受けている	運営面に関する定期的な指導を受け、適切な運営を目指していく
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		公休日も考慮し、各自が内部・外部研修の機会を確保できている	特に地域連携に基づく外部研修に関しては、今後も積極的に参加をしていく
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		既定のアセスメントシートを用いて、利用者様ごとのアセスメントを行っている	アセスメントの質の向上が今後の課題となっている為、研修等により職員のスキルを高めていく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	既定のアセスメントシートを運用している	アセスメント結果を支援方針にしっかり反映していく為に、MTG や会議時に積極的に活用していく

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		初回契約時、またはモニタリング時にご利用者様の現状、保護者様からのご要望、事業所からの見立てを踏まえ、優先的に必要な項目を見極めながら支援計画の立案を行っている	ご利用者様の支援フェーズによって、徐々に地域支援の必要なケースが出てくる。必要な時に適切な地域資源を活用していけるように、日頃から地域連携を心掛けていく
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		ご利用者ごとの個別のファイルにある個別支援計画を定期的に確認している	事業所内で中間評価を行い、療育方針や修正箇所の確認などを行っていく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		活動プログラムの最終決定に関しては全職員の同意のもと行われている	定期的な MTG の機会を設定し、その場でご利用者様の療育方針などの話し合いが行われている
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		お子様の現在の様子などを保護者様から都度確認し、個別支援計画の目標に沿った内容で、課題解決のための支援方法を検討している	個別療育を主とする事業所の為、一人一人のご利用者様の課題を見極め、その都度必要な療育を提供していく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		事業所として、個別療育が主となるが、定期的に小集団活動の機会も提供している。ご要望のあるお子様に参加いただいている	ご利用頂いているお子様のニーズに合わせたプログラムが実施できるよう、今後も新しい療育方針を検討していく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼の時間が設けられ、予定の確認ができる	その日の支援予定や担当の割り振りは共有された管理シートで職員全体がいつでも確認が取れる状況になっている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		情報共有スペースに書き込みをし、必要な情報を職員間で確認できる	職員間での情報の抜け漏れが無いよう、共通のスペースに報告していく事を仕組化している
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援記録は期日を決め作成している	支援内容については全職員が常に確認できるツールを社内でも活用している。担当者は必ず確認してから支援を行っている
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		モニタリングを通して活動の様子を振り返り、必要に応じて課題を新たに設定している	中間評価も取り入れながらモニタリングと支援計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。場合によっては指導員も同行する	外部機関との連携ができるよう、積極的に働きかけていく
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		必要な時に地域資源は活用している	日頃から外部機関とのつながりを持てるように働きかけていく
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	4	該当児童なし	今後、対象児を受け入れる場合は、地域・行政などの方針を踏まえた対応を取っていく

の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4	該当児童なし	今後、対象児を受け入れる場合は、地域・行政などの方針を踏まえた対応を取っていく
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者様にご協力を頂きながら、必要な時にお子様と園との連携が行えるようにしている	相互の継続的な情報共有などができるよう今後も関係機関連携を行っていく
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	関係機関連携として利用者様が通う学校との連携を必要に応じて行っている	今後、より地域との連携を密にしていく事を目標として行動していく
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	地域の発達センターやリハビリセンターの研修を受講する機会が増えた	地域連携事業としての研修の機会は、今後も積極的に参加をしていく
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	現状、提供するサービスとして交流の場は持っていない	今後、ご利用様のニーズを踏まえて検討していく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	積極的な参加は行っていない	地域の情報を把握し、地域との接点を今後も増やしていく
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援後の保護者様との振り返りの場面では、お子様のできるようになったことを中心に共有している	お子様の様子については、日頃から保護者様から情報を確認し、共通理解を持つ中で支援方針を検討していく
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	現状、提供するサービスとしてプログラムの機会は持っていない	内部・外部研修を行い、保護者様のニーズを踏まえて対応を検討していく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		ご契約時、また受給者証の更新時など、保護者様が理解がしやすいよう丁寧な説明を心掛けている	保護者様のご不明点、ご質問については、都度丁寧に対応をしていく
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		個別支援計画の更新時には必ず保護者様の同意のもと、新しい計画書を制定している	お子様一人一人が目指す目標を明確にし、支援方針がご利用者様、保護者様が把握できるように作成を行っていく
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		事業所内相談支援を実施し、ご希望の保護者様との面談を実施している	今後も継続して事業所として保護者様からのご相談などを受ける機会を作っていく
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	保護者様同士が交流する機会を今後検討していく	今後、保護者会の設定をし、ご参加やご協力を頂ける保護者様がいた場合は取り入れていきたいと考えている
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		事業所内相談の機会などで、ご相談事や申し入れについてのお話を伺っている	管理者が窓口となり、申し入れについてはすぐ内部で対応・対策について検討していく

非常時等の対応	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		チラシの配布や SNS 発信、LINE などを活用し保護者様には情報発信を行っている	今後もお子様や保護者様の目に届くような工夫を検討していく
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報に関するファイル保管に関しては、事務所のロッカー（鍵つき）に保管している	社内のコンプライアンスの規定に則り、適切な運用を行っている
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		口頭だけの指示が理解しにくいお子様も多いので、視覚的に分かりやすい教材を活動プログラムに応じて活用している	意思の伝達については、お子様ごとのコミュニケーションの方法を検討し、より理解しやすい提示の仕方を取り入れていく
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	今後、必要な場合に地域との関わりを持つようにしていく	地域の情報を定期的に収集し、必要な時に活用できるようにしていく
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		緊急避難マップの掲示や連絡先をまとめた名簿を更新している	定期的にお子様の参加を呼びかけ、実際の状況を想定した訓練が行えるようにしていく
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		定期的に職員間で非常災害に備えた避難訓練を行っている	ご利用者様にもご協力いただき、実際の状況を想定した訓練ができる機会を増やしていく
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		ご契約時に基本情報シートをお渡しし、疾患や配慮する点についての確認を行っている	有事の際は、提携医療機関との連携を取りながら対応をしていく
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	飲食の提供は行っていない	今後、提供する場合は内部のマニュアルに沿って対応していく
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ケガや事故に繋がらなかったケースでも、普段の支援の場で期間を感じた場面では、管理者が主導となりヒヤリハットの報告書の作成を行っている	ヒヤリハットに関しては管理者だけでなく全職員が目的を理解し作成することができるようにする。また再発防止に関しては事業所全体で共有していく
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止・権利擁護委員会を設置し、研修等を実施している	委員会が中心となり、組織的に虐待に関するコンプライアンスを高めていく取り組みを今後も継続して行っていく
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		契約書、重要事項説明書、また個別支援計画に身体拘束に関する記載をし周知を行っている	虐待防止・権利擁護の研修内容に組み込み、職員全体の理解に繋げていく	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校 保護者等数（児童数）：21 回収数：19 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2			ワンフロアでつい立てできている為、隣の子の声が聞こえて集中しづらい環境	お子様の状況のみで、必要であれば指導訓練室から離れた相談室スペースを一時的に活用する等の対応を行う
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17			2	・人数については問題ないと思うが専門性については分からない ・基本的に個別療育の為、適切である ・どういった専門性をもっているか共有して頂きたい	今後も適正な配置基準を満たし、安全な運営を行っていく。専門性に関しては、ご利用者様ごとの個別支援計画に基づき、提供する療育方針について丁寧に説明をしていきご理解頂けるようにしていく
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	4	3		・幼児には外の階段は急すぎる ・急な外階段は、特に雨の日に子どもの上り下りが怖い	賃貸物件の為、改修工事等が難しい状況。外階段については、必要な時に職員が同行する等の対応を行っていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	2				適切な療育を提供する為、まずは環境面整備を行う事を職員全体で意識している
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19				まだできていないものを課題にしてできるようにしていると思う	事業所で提供する療育方針については、ご本人、保護者様、事業所の三者合意の上、決定している
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	2				ご利用者様の支援フェーズによって、徐々に地域支援の必要なケースが出てくる。必要な時に適切な地域資源を活用していけるように、日頃から地域連携を心掛けていく
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1				個別支援計画に則り、短期目標も設定し、中間評価として療育方針が適切であるか等の確認を行っている
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2			他の療育機関の取り組みを取り入れるなどの工夫がされている	事業所内だけでなくご利用者様の関係機関の情報も確認をし、総合的に現在必要な療育方針を決定している

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	5	9		今後、ご利用様のニーズを踏まえて検討していく
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					ご契約時、また受給者証の更新時など、保護者様が理解しやすいよう丁寧な説明を心掛けている
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	1				お子様一人一人が目指す目標を明確にし、支援方針がご利用者様、保護者様が把握できるように作成を行っていく
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	1	7	3		定期的な面談は行っているが、現在、プログラムとしての提供は行っていない。今後、ニーズの確認をしていく中で検討をしていく
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2				ご要望に合わせて、管理者・指導員がお子様についてのお話をお伺いできる体制を常に整える
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4	1			事業所内相談支援の機会を設け、ご希望の保護者の方に定期的な面談を行っている
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	9	6		今後の感染状況や、保護者様のニーズを聞き取り、要望が多ければ前向きに検討をしていく
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1		1	利用したことはないが案内は受けている	可能な限り、ご利用者様や保護者様が快適にご利用できるように、ご相談やご意見については真摯に受け止め、適切な対応をとっていく
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19					関係性を築いていく事をまずは大事にし、お子様について職員が保護者様の伴走者となってサポートできる体制を取っていく
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1		4	ホームページをチェックしたことがなくよく分からない	ホームページや SNS 等で定期的に事業所からの情報を発信しているので、ご周知頂けるよう工夫をしていく
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1		1		ご契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い、同意書にサインをいただく
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	1		3		周知に関してはまだ不足している部分がある為、安心して事業所をご利用頂けるよう改めて周知方法について検討していく

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	1	4		定期的にご利用者様にご協力頂き避難訓練を実施していく。また、避難訓練の様子については事業所内で掲示する等、全体への周知を行っていく	
	満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19				毎週、通所を楽しみにしている。とてもありがたい	療育だけでなく、お子様が楽しめる居場所としても活用頂けるよう、環境面の整備も引き続き行っていく
		㉓	事業所の支援に満足しているか	17	1		1		お子様との関わりの中で、指導員も日々成長をしている。今後も価値ある療育を提供できるようお子様や保護者様との関わりを大切にしていく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。